

# 「向きを変えよ!! 向きを変える時の決断」

## 「信用と信頼」

ヨシュア 1:1-9

向きを変えて出発する為に必要なのが、信用と信頼です。この違いは何でしょうか？

ヨシュアは立派な人物として書かれてありますが、スタート地点は影響を受けてしまう普通の人でした。奇跡的な変貌をとげる為には古いものを捨て去って新しくされないとはいけません。新しくされるという事は、聞くには嬉しいメッセージですが、失敗する可能性もあるのが最大のストレスでもあるのです。

### ■ 何の為に日曜日に教会に集まるのか？

私達の働く原動力は、報酬を得る為である事が多いです。自分の人生を誰かよりも豊かにしよう、少しでも自分のランクを上げたい、その麻薬のようなものを得る為に行動し、疲れているのです。騒ぐ心を平安に導き、ずれた目線を直す事が必要です。その為に礼拝に来ているのです。

ニューヨークヤンキーズに松井が入団出来た時に、イチローは、松井にヤンキーズには凄いピッチャーがばかりが集まっているから、対戦の機会がなくなってしまうのは残念ではないのか？と言ったそうです。イチローの目線は他の人達とは違っていました。

私達の目線はどうでしょうか？ラハブは人から差別されバカにされる遊女でした。イエス・キリストに通じる系図に出てくる女性達は、ラハブの様に人には教えられていませんでしたが、神様には教えられていたのです。この様に人の目線と神の目線は違のです。信頼を得られる生き方は目線を変える事を選ぶかどうかです。

聖書は、右の頬を打たれたら左の頬も出しなさい。広い楽な道ではなく、狭い難しい道を選びなさい。あなたの敵を自分のように愛しなさい。仕返しをした時に、かえって相手を祝福し相手の頭に炭火を積みなさいと伝えています。炭火を積むとは、罰を与えるのではなく、相手が我に返り、自分を見直す為なのです。どれも、古い自分の目線のままでは、選ぶ事はできません。

### ■ 強くあれ、雄々しくあれ

「民 14:29 この荒野であなたがたは死体となって倒れる。わたしにつぶやいた者で、二十歳以上の登録され、数えられた者たちはみな倒れて死ぬ。」とありますが、二十歳以上の者とは責任がある者、大人という意味です。大人は善悪を自分で判断し、自分で自由に出来るからです。しかし、その自由を間違えてしまい、罪が入ってしまったのです。「民 14:32 しかし、あなたがたは死体となってこの荒野に倒れなければならない。14:34 あなたがたが、かの地を探った日数は四十日であった。その一日を一年と数えて、四十年の間あなたがたは自分の咎を負わなければならない。こうしてわたしへの反抗が何かを思い知ろう。」とあります。ここから、リーダーに対して不平不満を言ったので、自分の咎の為、荒野に倒れてしまった事がわかります。いつも民は自分達の不平を言いたいのでリーダーを、指導者を求めました。自分には責任がないと言って生きていたら、繰り返す同じ失敗をしてしまうのです。色々な事を約束しても人のせいにして裏切ってしまうのです。

これに対して神様はヨシュアに「強くあれ、雄々しくあれ」と言いました。その理由は律法の全てを守る為です。律法を守れないと、神様に言われている事を信じられなくなるので、不安になります。不安になると、上手くいかないのではないかと思うようになります。愛する事も、赦す事も出来なくなります。信じる事が出来ない事が罪の根本なのです。

### ■ 信用と信頼

・信用とは過去の実績や評価に基づいて下される客観的評価  
・信頼とはその信用に基づいて未来の行動を期待する主観的精神的なもの  
聖書は信用に値する事がある事を伝えています。しかし、イスラエル民はこれを無視して疑ったのです。これが問題なのです。あなたは信用に値する人ですか？もし値しないなら、信頼を得る為に信じて行動する事が必要です。ヨシュアは不平をいうのではなく、神を信頼し、モーセを信頼しました。不平ではなく信頼したので、普通のスタート地点にいたホセアという人物が救いをもたらす者、ヨシュアに変わる事ができたのです。

この世の中には信頼に値する実績や評価がないので信じる事は難しいです。マイナスの情報が入った時に、悲しい事が起きた時に、あなたは不平不満を選んではいませんか？聖書には狭い門から入りなさい

とあります。狭い門とはらくだが針の穴を通るより難しいという事です。信じる事が出来ない時に、頭を下げて小さくなり、信じ様とする事です。過去の実績である聖書に基づいて信じる為に、毎日聖書の御言葉を口ずさむ必要があるのです。イスラエルは祭りという習慣を通して、神様の約束を信じてよいのだと子供達に教えていきました。だからホロコーストのように厳しい現実の中でも信じる事が出来、乗り越える事が出来たのです。歴史を見れば神様を信じた人が立ち上がっている事がわかります。神様は、強く、雄々しくあれ、恐れてはならない。すべての律法を離れて右にも左にもそれではならない。とされています。何故なのでしょう？それは、あなたが行く所ではどこでも、あなたが栄える為なのです。そしてこの律法の書を、あなたの口から離さず、昼も夜もそれを口ずさまなければならない。とされているのは、全ての事を守り行う為であり、そうすれば、あなたのする事で繁栄し、又栄える事ができるからなのです。

神様の前に悲しい事を伝えるのは良い事です。これは不平不満ではありません。イスラエルの民は、悲しい時に、素直に悲しいと伝えず、文句を言ったのです。信用できる情報を沢山知っていたのに、信頼しようとしませんでした。しかし、苦しみの中にあつて神様を信じた時に奇跡が起きました。あなたの神が、あなたの行く所どこにでも、あなたとともにあるから、神様のふところの中において、運ばれているのだから、信頼していればいいのです。時に逆さまになって不安になる様な事があっても、ジタバタして、怖がってふところから逃げ出すような愚かな事をしてはいけません。いつも神様が一緒にいてくれる道を選ぶ事が大切です。

### ■ 賢く生きる

鳩の様に素直に、蛇のように賢くありなさいと聖書にあります。ヨシュアとラハブは賢さにたけていました。目線が違っていました。ラハブは城壁の中でイスラエルの民に起きている奇跡の噂を聞いていました。ヨシュアも、ヌンの子と書かれてある様に、一つの社会的な地域の中に属して生きていました。しかし、二人ともそこにいた家族、地域の人とは違う生き方を選んでいるのです。ヨシュアの生き方、考え方がモーセにとって信頼に値するものだったので、ホセアから、ヨシュアと呼ばれるように変貌を遂げる事が出来ました。ラハブもヨシュアもどうやって判断すればいいか、よく理解していました。大切な事は、恐れずに正しく判断して信頼を得る事です。心が騒ぐと判断を誤ってしまうので、どんな時も心を騒がせてなりません。愚かになってはいけません。目の前のパンを食べてしまつて、後に得られる者を失うような生き方をしてはいけません。私達は、失敗もしますが、改める事も出来るのです。選ぶ事が出来ます。

### ■ さいごに

あなたは、過去より、将来を考えていますか？何か嫌な事が起きた時に祈っていますか？恐れて不安にならず信じていますか？口から不満が出る前に感謝を言い、批判するより、協力していますか？遅滞するより、アクションを起こしていますか？どうして自分はこうなんだと嘆くより、明日は改めよう、こうしようと決断しているのでしょうか？

イエス様が全ての裏切り、信頼出来ない生き方の全てを引き受けて十字架に架かってくださったので、私達は、失敗しても、改める事が出来ます。これが、イエス様がしてくださった事です。心を貧しくしてへりくだって神様の賢さを求め、信頼出来る人となる事を願っていきましょう。多くの裏切りをおかし、又裏切られてきた人生を辞める決断をしていきましょう。

(要約者: 日名 陽子)

(2024年9月15日)